

# 安全データシート

改訂日：2016年 6月 1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : ホワイト7 RT  
会社名 : ユーアイ化成株式会社  
住所 : 兵庫県尼崎市田能6丁目1番35号  
担当部門 : 研究開発部  
作成者 : 山中 樹好  
電話番号 : 06-4960-1666  
FAX番号 : 06-4960-1333  
整理番号 : RT-05

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分1  
急性毒性（経口） : 分類できない  
皮膚感作性 : 区分1  
生殖細胞変異原性 : 区分外  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分2(神経系、肝臓、呼吸器)  
特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分2(神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器系)  
上記で記載がない危険有害性は、区分外か分類できない。

#### 絵表示



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : H315 皮膚刺激をおこす  
H318 重篤な眼の損傷をおこす  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H371 以下の臓器に障害のおそれ(神経系、肝臓、呼吸器)  
H372 長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害のおそれ  
(神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器系)

#### 注意書き（安全対策）

- : ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- : 取扱い後には手やばく露した皮膚を洗う。
- : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- : ほかの容器に移し替えないこと。

: 用途以外には使用しないこと。

#### 注意書き(応急措置)

- : 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。次にコンタクトを着用して  
いて容易に取り外せる場合は、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- : ただちに医師に連絡すること。
- : 皮膚または髪に付着した場合、汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ水や  
シャワーで皮膚を洗うこと。  
再使用の前に汚染された衣服を洗うこと。
- : 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- : 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させる  
こと。
- : 材料損傷を避けるために、漏出物を吸着させること。

#### 注意書き(保管)

- : 保管の際は、必ず密封し、温度40℃以下の所、直射日光の当たらない所に  
置くこと。

#### 注意書き(廃棄)

- : 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

#### その他

ほかの危険有害性情報なし

---

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : 水酸化ナトリウム (1～5%未満)  
(化審法) : 1-410 CASNO : 1310-73-2  
(化審法) : 2-230 CAS No 107-21-1  
2-アミノエタノール 3%  
(化審法) : 2-301 CASNO : 141-43-5  
キレート剤 (EDTA)  
精製水

成分特記事項 : 危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。  
残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で  
存在するものです。

---

### 4. 応急処置

#### 吸入した場合

- : 新鮮な空気のある場所に移すこと。必要に応じて医師の診断を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

- : 多量の水で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を  
受ける。

#### 眼に入った場合

- : 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗淨する。もしコンタクトを装着して  
いて容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗淨を続ける。直ちに医  
師の手当てを受ける必要がある。

#### 飲み込んだ場合

- : 水でよく口の中を洗淨する。無理に吐かせないこと。医師の診断を受ける。

#### 応急措置をする者の保護

- : 個人用保護具を着用すること。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

#### 使ってはならない消火剤

- : 利用可能な情報はない

#### 特有の危険有害性

- : 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

#### 消火を行う者の保護

- : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 発火源を除くこと。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏  
出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止  
する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、  
ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

#### 環境に対する注意事項

- : 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収  
する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : 換気を十分に行う。

注意事項 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないようにする。適切な保護具  
を着用する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の  
乱暴な取扱いをしてはならない。使用後は容器を密閉する。

取り扱う場合は、眼及び皮膚への接触を避ける。取扱い後は、うがい手洗  
いをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

#### 安全取扱注意事項

- : 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。取扱い後は、うがい手洗いをする。

## 保管

### 安全保管条件

： 容器を密閉し、直射日光、高温（40℃以上）、多湿を避けて保管する。

安全な容器包装材料： ポリエチレン、密閉できる容器

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取り扱いについてはできるだけ発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度：データなし。

許容濃度（水酸化ナトリウム100%として）

ACGIH（1992）： 上限値 2mg/m<sup>3</sup>

日本産業衛生学会： 最大値 2mg/m<sup>3</sup>

（2-アミノエタノール100%として）

： TWA 3 ppm [2012]、 STEL 6 ppm [2012]

### 保護具

呼吸器用の保護具： 保護マスク

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 保護眼鏡

### 適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状： 液体

色： 淡黄色透明又は黄色透明

pH： 13.3 ± 0.5

比重： 1.08 ± 0.05 (20℃)

溶解性： 水に可溶

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

光： 光に当たると変色する場合がある。

通常の手取り扱い条件では安定。

反応性： データなし

危険有害反応可能性（水酸化ナトリウム100%として）

： 酸化性物質と反応する。アルミニウム、スズ、亜鉛などの金属を腐食して水素ガスを発生する。

避けるべき条件： 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク、炭酸ガス

混触危険物質： 酸性物質、アルミニウム、亜鉛、スズ

危険有害な分解生成物： 金属酸化物

## 1 1. 有害性情報

(水酸化ナトリウム100%として)

急性毒性： 経口 LD50 (ウサギ) 325 mg/kg

経皮 データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

： 水酸化ナトリウムブタの腹部に2N(8%)、4N(16%)、6N(24%)溶液を適用した試験で、大きな水疱が15分以内に現れ、8%および16%溶液は全表皮層に重度の壊死を生じ、24%溶液においては皮下組織の深部に至る壊死を伴う無数かつ重度の水疱が生じたとの報告 [SIDS(2009)]、およびウサギ皮膚に5%水溶液を4時間適用した場合に重度の壊死を起こしたとの報告(ACGIH (7th, 2001))に基づき区分1とした。なお、pHは12(0.05% w/w) [Merck (14th, 2006)]である。また、ヒトへの影響では、皮膚に対して0.5%–4%溶液で皮膚刺激があり、0.5%溶液を用いた試験でボランティアの55および61%に皮膚刺激あったとの報告(SIDS (2009))がある。EU分類ではC、R35に分類されている。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

： 水酸化ナトリウムヒト眼に対してevere, serious hazardを引き起こすとの記述(ACGIH, 7th, 2001; DFGOT vol. 12, 999; PATTY, 5th, 2001)及びウサギ眼に対して1.2%以上でcorrosiveを引き起こすとの記述(SIDS, 2002)から区分1とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

： 水酸化ナトリウム呼吸器感作性 : データなし。

皮膚感作性 : ヒト皮膚での感作性

試験でno skin sensitisationとの記述(SIDS, 2002; IUCLID)から区分外とした。

生殖細胞変異原性

： 水酸化ナトリウムin vivoマウス骨髄小核試験で陰性(SIDS, 2002)及びin vitro変異原性試験のAmes testで陰性との結果(SIDS, 2002; DFGOT vol. 12, 1999)から区分外とした。

発がん性： 水酸化ナトリウム週1回12週間のラット飲水投与において発がん性が認められないとの報告はあるが(DFGOT vol. 12, 1999)、データ不足で分類できないとした。

生殖毒性： 水酸化ナトリウムReproductive and developmental toxicityで有用なデータはないとの記述(SIDS, 2002; DFGOT vol. 12, 1999)から、データ不足のため分類できないとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

： 水酸化ナトリウムヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述(SIDS, 2002; ACGIH, 7th, 2001; DFGOT vol. 12, 1999; PATTY, 5th, 2001)から区分1(呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

： 水酸化ナトリウムラットでの吸入反復暴露で肺に障害を与えるとの記ACGIH, 7th, 2001; DFGOT vol. 12, 1999; PATTY, 5th, 2001)があるが、データ不足のため分類できないとした。

#### 吸引性呼吸器有害性

： 水酸化ナトリウムデータなし。

---

### 1 2. 環境影響情報

(水酸化ナトリウム100%として)

生態毒性 水酸化ナトリウム 魚 LC50:Oncorhynchus mykiss 45.4 mg/L 96 h

甲殻類 LC50: Ceriodaphnia quadrangula 40.4 mg/L 48 h

#### その他のデータ

##### 水生環境有害性(急性)分類根拠

： 水酸化ナトリウム甲殻類(ネコゼミジンコ属)の48時間LC50=40.4mg/L(SIDS、2004)から、区分3とした。

##### 水生環境有害性(慢性)分類根拠

： 水溶液が強塩基となることが毒性の要因と考えられるが、環境水中では緩衝作用により毒性影響が緩和されるため、区分外とした。

残留性・分解性 : 利用可能な情報はない

生体蓄積性 : 利用可能な情報はない

土壌中の移動性 : 利用可能な情報はない

オゾン層への有害性 : 利用可能な情報はない  
移動性

#### その他のデータ

##### 水生環境有害性(急性)

： 魚類(ヒメダカ)の96時間LC50>100mg/L(環境省生態影響試験、2001)他から、区分外とした。

##### 水生環境有害性(慢性)分類根拠

： 難水溶性でなく(水溶解度=1.00×106mg/L(PHYSPROP Database、2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。

残留性・分解性 : 利用可能な情報はない

生体蓄積性 : 利用可能な情報はない

土壌中の移動性 : 利用可能な情報はない

オゾン層への有害性 : 利用可能な情報はない  
移動性

---

### 1 3. 廃棄上の注意

廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた産廃処理業者に内容を明確にして処理を委託する。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

---

#### 1 4. 輸送上の注意

##### ADR/RID(陸上)

国連番号 : UN 3 2 6 6  
品名 : 腐食性液体(アルカリ性、無機物)、n. o. s. (Sodium Hydroxide )  
国連分類 : 8  
副次危険性  
容器等級 : II  
海洋汚染物質 : 非該当

##### IMDG(海上)

国連番号 : UN 3 2 6 6  
品名 : 腐食性液体(アルカリ性、無機物)、n. o. s. (Sodium Hydroxide )  
国連分類 : 8  
副次危険性  
容器等級 : II  
海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 7 3 / 7 8 や IBC コード に 則 っ た バ ル ク の 輸 送  
: 利用可能な情報はない

##### IATA(航空)

国連番号 : UN 3 2 6 6  
品名 : 腐食性液体(アルカリ性、無機物)、n. o. s. (Sodium Hydroxide )  
国連分類 : 8  
副次危険性  
容器等級 : II  
環境有害物質 : 非該当

---

#### 1 5. 適用法令

##### 国内法規

消防法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
労働安全衛生法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
水酸化ナトリウム、2-アミノエタノール  
危険物船舶運送及び貯蔵規則  
: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)  
航空法 : 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)  
海洋汚染防止法施行令 : 別表第1 有害液体物質 Y類物質  
化学物質排出管理促進法 : 第1種指定物質 ポリオキシエチレンアルキルエーテル 5%  
2-アミノエタノール 3%  
水質汚濁法 : 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

---

## 16. その他の情報

### 引用文献

水酸化ナトリウムのSDS、2-アミノエタノールSDS

### 免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2012に準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z7252(2010)に準拠している。\*JIS: 日本工業規格